

B-1 単元計画と評価計画

(総時数 7時間)

時間	ねらい ・学習内容	関 心	思 考	技 能	知 識	学習活動の具体的な評価規準
1	○葉のつくりについて興味をもつ。 ・いろいろな植物の葉のつくりを調べる。	○				植物の種類による葉の作りの共通点や相違点について調べようとしている。 行動観察やノートの記述から評価する。 C への手だて 観察の視点を確認しながら一例を示す。 A とする判断 根拠をもって葉の共通点・相違点を記録している。
2	○葉のつくりについて調べる。 ・葉脈のはたらきや通り方のちがひ、葉の細胞構造や葉緑体についての説明を聞く。			○		葉の断面や表皮の顕微鏡資料をつくり、目的に合った細胞の観察およびスケッチをする。 観察の技能やスケッチから評価する。 C への手だて 観察可能な試料を用意し、確実に葉の細胞構造の観察ができるようにする。 A とする判断 生物のからだのつくりを調べ、より細かく正確にスケッチができる。
3	○蒸散のはたらきを知る。 ・蒸散についての説明を聞く。				○	蒸散のしくみについて気孔のつくりと関連づけて理解する。 蒸散のしくみの発表から評価する。 C への手だて 出入りする気体の確認をしたり、光合成や呼吸のはたらきを想起したりしながら理解を手助けする。 A とする判断 光合成や呼吸のはたらきを思い起こしながら気孔から出入りする気体について説明できる。
4	○葉緑体でデンプンがつくられることを調べる。 ・実験1を行い、葉緑体でデンプンがつけられることを調べる。			○		葉緑体でデンプンがつけられていることを顕微鏡を用いて調べている。 的確に操作を行い、葉緑体を観察できたかで評価する。 C への手だて 実験の操作手順や試薬の反応を確認し、結果が理解できるように支援する。 A とする判断 適切に観察・実験の処理をし、デンプンが作られている部分の観察ができる。
5	○光合成のしくみについて思考する。 ・実験を行い、植物が光合成を行う際に必要な気体について調べ、光合成のしくみについての説明を聞く。		○			光合成が行われるとき、二酸化炭素が必要であることを見いだしている。 発表やワークシートの記述から評価する。 C への手だて 個別指導を行い、試験管の条件の違いについて考えられるようにする。 A とする判断 試験管の条件の違いなど観察・実験結果から根拠をあげて見いだしている。
6	○光合成のしくみとデンプンのゆくえんについて考察する。 ・図9、10を参考に、光合成のしくみとデンプンのゆくえんについて理解する。		○			光合成のしくみとデンプンのゆくえんについて調べその役割を指摘している。 光合成のしくみとデンプンのゆくえんについての発表から評価する。 C への手だて 図9、10を参考に、光合成のしくみとデンプンのゆくえんについて整理してまとめ、その役割に気づけるように支援する。 A とする判断 光合成のしくみとデンプンのゆくえんについて、その蓄えられる目的を正確に捉え発表している。
7	○植物の呼吸について理解する。 ・植物の呼吸についての説明を聞く。			○		植物も動物と同じように、昼夜を通して呼吸をしていることに気づく。 呼吸についての発表から評価する。 C への手だて 人も含めた動物と比較しながら、呼吸について理解できるように支援する。 A とする判断 植物は夜だけでなく、昼も動物と同じように呼吸をしていることが理解でき、出入りする気体の量について説明できる。
	補充					
	発展					